

在宅医療（栄養）推進事業 三条支部研修会

新潟県栄養士会三条支部

活動概要

日時：2025年12月18日（木）

会場：三条東公民館 多目的ホール 1

内容：（1）同職種連携で取り組む働く世代からの生活習慣病予防

～県央地域の食生活実態把握結果（速報）の報告など～

新潟県三条地域振興局健康福祉環境部 主任 重住京子氏

（2）魚沼地域における栄養情報連携の取り組み

湯沢町保健医療センター 栄養管理室 柳 真紀氏

（3）食形態一覧の更新について

特別養護老人ホームさかえの里 管理栄養士 宇治 太智氏

（4）グループワーク・情報交換

参加者：栄養士会会員 20名・非会員 5名

活動内容

（1）同職種連携で取り組む働く世代からの生活習慣病予防

県央地域の食生活実態把握について

県央地域はHbA1C数値・脳血管疾患の年齢調整死亡率が男女ともに県平均値より高値であり、脳血管疾患の発症予防の為高血圧・糖尿病予防の取り組みの推進が必要との事でした。

令和6年に実施されたアンケート結果では、野菜摂取量の一日の目標値 350g を下回る者の割合が多く、麺類の汁を 1/3 以上飲む者や、濃い味付けを好む者が半数以上である事が分かりました。



最後にアンケートシートを記入しました。

(2) 魚沼地域における栄養情報連携の取り組み

魚沼圏域の栄養情報連携の取り組みについて講話して頂きました。

医療と介護の知りたい情報を網羅した魚沼地域独自の情報提供書の作成から活用、様式の工夫点や、情報提供書を受け取った際のメリットなど詳しく説明して頂きました。



(3) 食形態一覧表の更新について

さかえの里の宇治さんより食形態一覧表の更新方法について説明していただきました。



(4) グループワーク・情報交換

6つのグループに分かれ、自己紹介をしてから食形態一覧表の活用や、講話の感想について話し合いました。様々な活用法が聞こえてきました。